



なぎがまCSだより

発行責任者 本山公之
編集 広報部

【なぎがまCS事務局】
下諏訪中学校 ☎27-3000
下諏訪南小学校 ☎27-5000

皆さんこんにちは！なぎがまCS(コミュニティスクール)広報部より、第20号のおたよりをお届けいたします！
なぎがまCSでは「学校支援部」「地域連携部」「広報部」に分かれ、地域の様々なコーディネーターによって多くの活動が支えられています。令和6年度に行われた取り組みをご紹介します。ぜひお読みください。

TOP MESSAGE より一層活発な 支援活動・地域との連携 を目指して

新型コロナも下火となりコロナ前の学校生活が戻ってきました。学校から聞こえてくる子どもたちの声、元気に躍動する子どもたちの姿！私たちも元気づけられます。本年度はなぎがまCSの活動もコロナ禍前と同様に出来るようになりました。学校とも相談し子どもたちの要望に答えながら各団体の皆様に様々な支援をして頂きました。また、新たな支援の拡充として授業補助の応援を始めました。ミシンの他に、水泳、工作、賞状書きなどを本年は行いました。来年度からでも「私も応援したい」と思った方は、善は急げ、なぎがまCSまでご一報をお願い致します。これからもPTCA（保護者、先生、地域）で連携し子どもたちを支援し学校を応援して行きたいと思ひます。そして支援、応援がより充実するよう地域の皆様のより一層の参加協力を改めてお願いしたいと思ひます。



なぎがまコミュニティスクール委員長 本山 公之

MESSAGE

大人の方から学び、憧れをもつ



下諏訪中学校長

矢鳥 和明

なぎがまCSの皆様には、本校へのご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。2学年の職場体験では本山会長さんのお店に2名の生徒を受け入れていただきました。「大丈夫だよ。いろいろと経験するのが大事だから」とドンと引き受けていただきました。一人は魚がとても好きな生徒でした。学校にいる何倍も生き生きとした表情や動きで体験をさせていただいてありがたかったです。実は、全国学力・学習状況調査で本校は「将来の夢や希望がある」について肯定的な回答をする生徒がここ数年低い傾向にあります。私は、子どもが自分の将来を思い描くとき、「将来、ああいうふうに働いてみたい、あんな大人になりたい」みたいな、憧れとなる大人がいるのではないかと思います。読み聞かせでも「あんなふうに読めるようになってみたい」という生徒は常にいます。身構えていただかなくて大丈夫なのですが、きっと子どもたちは、大人の方から自然と様々なことを教えていただいているのだと思っています。今後も様々な願いをし、お世話になるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

MESSAGE

地域の方に支えられて育つ子ども

本年度も、なぎがまコミュニティスクールの皆様にご支援を賜りながら、子どもたちが生き生きと学べたり、地域のもの・ひと・こととふれるよさを味わえたりすることができました。「子ども見守り隊」の皆様には、子どもたちの通学や行事における安全を守るために支えていただきました。通学時に交わされたあいさつが、学校や家庭にも広がっているように感じました。「地域講師」の皆様には、料理や町探検、日本文化などのクラブ活動や、学年ごとに取り組んだ剣玉・凧づくり・防災教室・米づくりなど、子どもたちの学びを豊かにしていただきました。2年生の凧づくりでは、一人一人が凧をつくり、校庭で揚げました。自分の凧が空に向かって揚がっていくのが分かったら、楽しさや嬉しさがどんどん膨らんでいく様子がうかがえました。講師の先生方のお陰で、どの学年も充実した学習となりました。これからも、なぎがまコミュニティスクールの皆様のご理解、ご支援を賜りながら、南小学校の子どもたちの健やかな成長を大切にしていけたらと思っています。よろしくお願い致します。



下諏訪南小学校長

野村 修治



クラブ活動支援

地域講師の方をお願いしての17のクラブ活動が行われました。

★プログラミング★

公立諏訪東京理科大の市川純先生に教えて頂き、プラレールの走行プログラムを作りました。レールを組み立て、新幹線車両を自分のプログラム通りにPCによってコントロール走行させることができました。



←自分のプログラム
で新幹線走行



↑ペルターを使って

★3B体操★

宮澤由香さんは、ボール・ペルター・ベル3つの器具をつかったの身体機能を高める運動を教えて下さいました。器具を使うことで、変わった動きによって身体機能を鍛える運動を練習する姿が楽しそうでした。



クラフトバンド、スポーツ吹き矢、工業コマ、凧づくり、料理、絵手紙 など他にもたくさんの講座があります。それぞれの地域講師のみなさんが南小のクラブ活動を支援してくださいました。子どもたちは自分で選択したクラブで普段の学習活動ではできないような様々な体験を毎回楽しみにして取り組んでいました。



ランニング見守り隊

10月31日と11月15日に行われた「元気ぐんぐんランニング」にて、少年警察ボランティア協会のみなさんによるコース見守りが行われました。



今年度は全学年同日開催になったため、学校コースと諏訪湖コースに分かれて、募集した保護者ボランティアも一緒に協力してコースの見守り活動を行いました。



おはなしのへや

11月21日 南小学校では、読み聞かせボランティアさんによる「おはなしのへや」が開催されました。

6年生の教室では、子どもたちに好きな絵本を選んでもらい、読み聞かせをしてくださいました。「なまえのないねこ」「うそ」という本を選んだ児童たちは、真剣に聞き入っていました。



読み聞かせボランティア



下中では月に1回、読み聞かせボランティアの皆さんによる読み聞かせの時間があります。

3年2組を担当した河西澄江さんは「くま と やまねこ」を読んでくださいました。大切にしていた小鳥が死んでしまって辛い毎日を過ごしていたくま。やまねこと出会う、新しい世界があることに気付いた「くまの気持ちの話」にじっくり聴き入っていました。生徒たちは「色々な本を読んでくださるので、楽しみにしています。」と感想を話し、毎回の読み聞かせをととても楽しみにしている様子が伝わってきました。

School 学校 支援部

学校支援部主な活動

- ★読み聞かせボランティア
- ★地域講師派遣…クラブ活動
学習補助ボランティア
(水泳、シンなど)
- ★見守り活動……登下校時
校外活動時

地域参観日の懇談会で、先生方のご報告などから、1年生の水泳見守り、2年生生活科工作の応援ボランティアさんも活動しました。児童たちは見守り・応援いただきながら参加した活動を楽しんだり、完成を目指して挑戦する姿が輝いていました。



2月は5年生エプロン制作のサポートとして2名ずつのサポーターが参加しました。

←ミシンの授業補助の様子



下中を語る会

主任児童委員
井上喜久美

コロナ以来中止していた下中を語る会が11月27日(水)に開催されました。民生委員等地域で子供たちを見守る方々が参加し、授業参観をさせていただきました。教頭先生からは下中生徒の地域活動への参加が紹介されました。「中学生が地域で何ができるのか」を令和の学校づくりのなかで実践していることを知りました。授業参観では、自ら考え課題に取り組む姿が印象的でした。数学では正比例・反比例の問題を生徒同士でアドバイスする姿、英語では電車の乗り換えを説明する文書を自分で考え先生に聞いてもらう授業で、一人一人が積極的に取り組んでいました。授業でタブレットと電子黒板が効果的に使われていたのも印象に残りました。授業参観の後の意見交換では通学路の安全確保の問題などが話題になりました。

2024年4月28日(日)

諏訪湖浄化プログラム

里山整備 (ブナの森)



コロナの自粛期間があり、4年ぶり、20年目の里山整備を下諏訪中学校矢島校長先生、久保田教頭先生、生徒15名、諏訪湖ロータリークラブ15名、管理と指導をいただいた宮坂源吉さんの33名で東山田のブナの森に入りました。

山が荒れると災害の発生や川の水、諏訪湖の水質を悪くすることに注目をして、ブナの効果と里山の大切さを次世代に伝承するための活動です。20年続けているため、生徒が成長しても大切な記憶として残っているようで、教育実習に来た大学生も当時の植林などのことを話してくれたと、GSMでの中中の発表の中で披露してくれました。環境のため大切な作業ができました。



地域をつなぐ

寺子屋活動

下諏訪町第三区分館 小口 直久

下諏訪町第三区分館では、夏休みと冬休みの期間中、小学生を対象とした「寺子屋」を開催しました。夏休みには向陽高校の生徒たちがボランティアとして参加し、ドリルや宿題のサポートを中心に子どもたち一人ひとりに寄り添い、優しくサポートをして、子どもたちの学習を支えてくれました。冬休みには書道の書初めなどを行い、子どもたちが積極的に勉強に取り組む良い機会となりました。参加した子どもたちは「楽しかった！また来たい！」と笑顔を見せていました。

この寺子屋活動は、地域に住む大人たちの支援や、高校生の協力によって成り立っています。子どもたちの成長を見守りながら、地域の絆を深める貴重な取り組みとして、これからも続けていきたいと考えています。



↑お兄さんたちに見守られ真剣に学習をする子どもたち

2024年11月9日(土)

諏訪湖まるまるゴミ調査清掃



諏訪湖ロータリークラブ 主催

11月9日7時45分集合し、諏訪湖まるまるゴミ調査清掃。下中の生徒たちが96名、先生が6名、社中生徒4名、ガールスカウトが15名で諏訪湖畔、高浜から諏訪市堺までのゴミ調査と清掃を行い、拾ったゴミを分別して調査をまとめ、結果と感想を発表しあいました。



〜参加した生徒たちの感想〜

- ・水際には小さいゴミが多くてびっくりした
- ・発泡スチロールやビニール袋が多くて大変だった
- ・ペットボトルがたくさん捨てられていた
- ・変なゴミがいっぱいあった
- ・遊歩道には細かいゴミがたくさんあった
- ・諏訪湖のゴミがあることで、魚が死ぬかもしれない
- ・水質が悪くなってしまうかもしれない



- ・生き物が生きられなくなる
- ・くさい諏訪湖、見た目も悪くなる
→環境汚染になる
- ・ゴミもたくさんあったから
これからも続けていくのが大切
都合が合えば来年もやりたいです

Our Town

地域 連携部



親子防災キャンプ



日本防災士会長野県支部 主催

10月12日、13日に赤砂崎公園にて下諏訪町の小学校の児童と親を対象に開催されました。

2日間ライフラインが絶たれた設定の中テントに泊まり、非常用トイレを使い、防災食を食べ、リアルな避難生活を擬似体験するのです。テント設営から始まり非常用トイレの使い方、消防団体験

非常用電話体験、薪作りと焚き火、ロープワーク、防災ブレスレット作り、太陽光充電路灯の解説、電動カートと人力車の活用体験など不便な中でも子ども達は前のめりで楽しんでいました。



災害の「その時」が来る前に親子で楽しみながら擬似体験できた有意義な体験となりました。



『みんなの学校』に興味を持ったのは、下諏訪町PTA連合会で木村泰子さんの講演会を開催すると伺ったからだ。「木村泰子さん？誰?!」調べてみると、大阪市の小学校で校長先生を務められたとのこと。その学校のドキュメンタリー映画『みんなの学校』がとにかくスゴイらしい。全国各地で自主上映会が開かれているそうで、長野県でも各地で開催。早速、小5の娘を連れて、松本の上映会へ行ってみた。たしかにスゴかった。何がスゴイかって、映画を観た娘の意識が変わったから。高学年になってから、クラスメートの批判を言うことが目立ってきた娘。「あの子はウルサイ」、「この子はふらふら歩きまわったり、教室を飛び出したりして迷惑」等等…頻繁に聞く娘のチクチク言葉に、あれやこれや言ってみても効果なし。ところが、この映画は娘の心に響いた模様。「自分とは違う考えや行動をする人だって、その子なりの理由があるんだね。」「みんな同じ人間なんだから、自分のことも、みんなのことも大切にしたい。」…母、びっくり仰天！そして、娘はいつの間にかクラスメートの良いところを見るようになっていた。「あの子は足が速くてスゴいんだよ」。「この子は本が大好きでスゴいんだよ」、「それに、歌もうまいんだよ」…

★上映会当日の様子★



沢山の親子、地域の方々がお互いの「違い」を温かく受容できるようになったら素敵だなという思いから、上映会を開催する運びとなりました。お陰様で、この上映会は、様々な方たちにご協力いただき、心温まる「みんなの」上映会になりました。ご賛同＆出資してくださったなぎがまCS&ノースの皆さん、準備や当日のお手伝いをしてくださった文化センター職員の皆さん、ボランティアで大活躍してくださった園児・小・中・高校生・保護者・地域の有志の皆さん、そして当日ご来場くださった257名の観客の皆さん、ご協力ありがとうございました。



11月5日(火)、下諏訪中学校では第3回参観日に合わせ、夢いきいき講演会を行いました。今年は「諏訪圏フィルムコミッション」という映画招致に携わる団体から、下諏訪町在住の宮坂洋介様を講師としてお招きし、ご講演をいただきました。今まで当たり前に見てきた映画やドラマが実は諏訪地域と関わりのあるものだったり、諏訪を舞台に撮影されたものが大ヒットしていたりと、諏訪の魅力を再発見する機会となりました。また、宮坂様の活動が、実は諏訪に大きな経済効果をもたらしていることも知ることができました。それを実現してくださっている宮坂様はじめ諏訪フィルムコミッションの方々の仕事に大きな魅力的を感じました。将来、諏訪のために活躍する宮坂様のような方が下諏訪中からもたくさん出てくれると嬉しいです。宮坂様は、中学生の頃に映画に興味をもったことが人生に大きく影響しているとお話しされました。日頃感じている「好き」、「楽しい」等の素直な感覚がとても大切で、自分の人生を方向づけるための重要なことであると感じます。いきいきと生きていくための大きなヒントを与えていただきました。これからも様々な作品が撮影されるような、魅力ある諏訪の地であるように、私たちの住む地域について見たり考えたりしていきたいと思いました。



(生徒の感想1)

諏訪で撮影された映画や動画が多いことにびっくりしました。また、私はゴジラを映画で見ていたのでゴジラが岡谷市で撮影されていたことにもとても驚きました。芸能人が諏訪湖をバイクで一周する動画では、自分が見ているよりも諏訪湖がきれいに見えました。とても魅力的な町なんだと改めて強く思いました。私はテレビや映画が大好きなので、今回の講演を聴いて、宮坂さんのような仕事をやってみたいと思いました！

(生徒の感想2)

講演を聴いて、下諏訪町や諏訪郡のいろいろなところが映画やMVなどに使われていて、今まで何とも思っていなかった場所がすごく魅力的に感じました。また、自分の地元が全国に広がって知られていくのは、なんだか嬉しく感じました。